

山梨リニア実験線と山梨県立リニア見学センター

施設管理者 : 山梨県
施設所在地 : 山梨県都留市小形山 2381 番地
調査見学時期 : 平成 29 年 11 月 30 日（平成 29 年度地下情報化部会全国地下利用事例調査）
施設概要

山梨リニア実験線は中央本線大月駅の南側に位置する実験線です。1996年(平成8年)に18.4kmの先行区間で開設され、走行試験が開始されました。試験中も、先行区間の東側7.8kmおよび西側16.6kmの延伸工事が施工され、2013年(平成25年)に当初計画の全線が完成しました。現在では総延長42.8kmの区間で走行試験が行われています。トンネル掘削断面は、幅約13m、高さ約10mです。

山梨県立リニア見学センターは山梨リニア実験線の走行試験の開始に合わせて開館した、県立の博物館型見学施設です。

2014年4月に体験学習機能を充実させてリニューアルオープンしました。山梨リニア実験線での走行試験の様子を間近で見学できる日本唯一の施設です。

見学施設には 50 年にわたるリニア開発の歴史年表や鉄道の世界最速記録 時速 581km を樹立した実車両などが展示されています。また、実際に液体ヘリウムでマイナス 269℃に冷却した超伝導材料を使って超伝導状態を作る実験を見せながら、超電導リニアの仕組みを解説する実験コーナー、実際に磁気浮上走行が体験できるミニリニアへの乗車、時速 500km の走行感覚を映像と振動で体感できるリニアシアターなど、見学者に興味を抱かせる様々な展示物が用意されている施設です。



リニア走行



リニア走行時揭示板